

市2のサン

～市場第二の太陽(サン)～

発行日 平成27年8月1日
 発行者 市場第二地区社会福祉協議会・市場第二地区あいねっと関係者連絡会
 市場第二地区世帯数 8471 世帯

この広報紙は、市場第二地区に住んでいる皆さんの「地域のことを知ってほしい」や「交流の輪を広げたい」そんな声から作られました。

10号
特集

その1

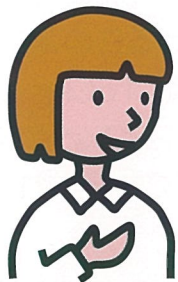
「市2のサン」はおかげさまで10号をむかえることができました。

創刊号
(平成22年)



5年で何が
変わったの？

サンちゃん



市場第二地区の
人口がずいぶん
増えたのよ！

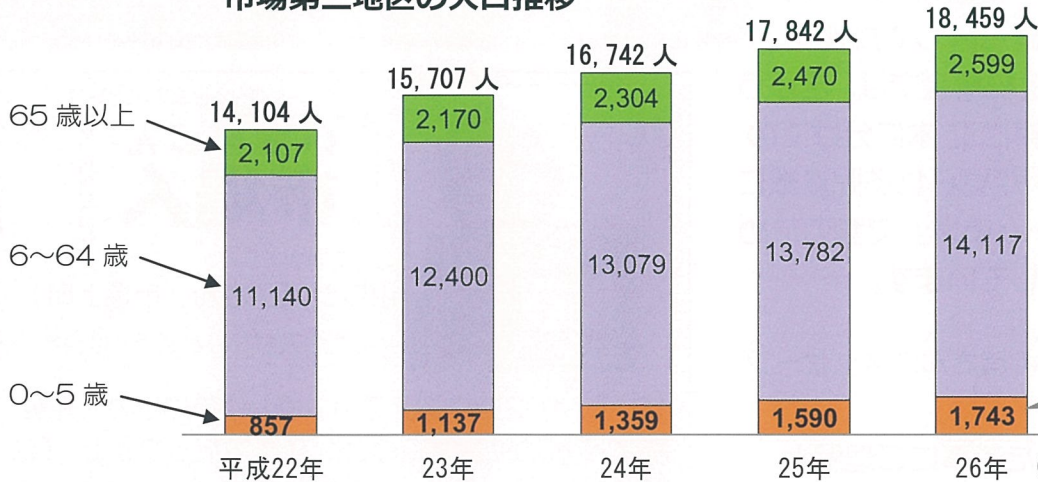
お市ばあさん



人口は5年間でこんなふうに変ったわ



市場第二地区の人口推移



5年間の人口増加率
 鶴見区全体 3%
 市場第二地区 32%

構成比
 65歳以上：14%を維持
 6～64歳：79%→76%
 0～5歳：6%→10%

5年で
倍増

増えた理由は？



尻手・元宮にマンションが増加しました。
 ヨコハマオールパークスのような大型マンションを始め、50世帯以上の新築マンションが7ヶ所以上。

街並みも変わったのよ



大型店舗がつぎつぎに開店しました。

- スーパー三和
- ケーズデンキ
- コーナン
- フォルテ森永橋(バルクなど)
- クリエイト
- らくспа

人口の増加によって小学校にも変化が出ています。(裏面、その2をご覧ください)

今年度、児童数が鶴見区一となり 4 月に新校舎が落成した市場小学校。学校のあれこれを室井克之校長先生にインタビューをしてきました。

どんどん成長中！ 市場小学校

Q: 新校舎完成に伴い、どのように変わりましたか？
A: 教室数は図工室 1、普通教室 14、多目的室(教室転用可能) 5 増えました。校庭は整地された後、夏に全面復旧します。西門(学校裏手)側に第 2 グラウンドが増設されました。また、プールは本校舎の 2 階に移設され、昨年夏より使用しています。

Q: 子どもたちの大好きな給食も人数が増えれば扱う材料も増えると思いますが。

A: 平成 22 年 4 月のある日のメニューであるポークカレーと甘酢和えの材料は約 160kg でしたが、平成 27 年 4 月の同メニューでは約 220kg となっていました。調理員さんも 8 名から 14 名に増員されました。

4 月の児童数

平成 22 年 712 名
27 年 965 名
29 年 1200 名(予測)

Q: 児童数が数年後に横浜一になることが予測されていますが、大勢の児童に対応するために工夫されていることは？

A: 大勢で良いことは第 1 に活気があること。子どもたち同士が切磋琢磨して成長できることです。体育館は全校集会では、ぎゅうぎゅうです。遠足でも電車は 2 本に分けての乗車です。また、先生一人が見られる児童数には限りがあるので、「チーム市場」で育むために先生同士で情報共有をしています。



最後に、校長先生より地域の皆さんにメッセージを頂きました。

「平成 25 年度より行った工事にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。今後も地域の皆様や保護者の皆様の思いや願いを共有して子どもたちを育て参ります。ご支援ください。」

編集後記

市場第二地区の人口・年齢構成の面からは全国で問題となっている過疎の状況にないのは喜ばしいことです。

過疎を避けるため、あえて言えば、『0~5 歳と 6~64 歳の比率を各々高めること』が必要でしょう。一般市民としては、日常生活の中で『今まで以上に地域の人々との絆を強く、太く育むこと』が活動テーマのひとつとなると思います。

バードウッド鶴見 廣谷秀雄



いちばんじん
市場人



山口シズ子さん(市場上町)

(写真の素敵な服と紙クラフトは自作品)

10 月で 102 歳を迎える山口さんは市場小の大先輩。昔は、梨畑が広がる、のどかな風景だったとか。「苦労はしてない」…さり気ない言葉は、大震災や空襲・戦火等、どんな苦難の日々も前向きに生きて来られた強さの証のように思えます。古希を迎える頃になって夢を叶える海外旅行へ。町内活動も精力的で“さわやか運動推進会”代表や“老人クラブ”副会長等歴任し地域に貢献。何事にも興味を持ち、人がいる所に出かける事が大好き。病院は早めにかかることを心がけ『趣味・行動・健康管理』が、元気で長生きの秘訣のようです。手先が器用で、編物・紙クラフト・刺繍・ちぎり絵等、今なお数々の素晴らしい作品を制作。中でも額に飾った、『刺繍の虎・ちぎり絵の花』は見事です！心地良い仔死 1- に私達が元気を頂きました。